

## 管内信用金庫の平成 24 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- コア業務純益は、資金利益の減益等により、前期に比べ 9.6%の減益。
- 当期純利益は、コア業務純益の減益に加え、与信関係費用の増加や株式等関係損益の悪化等により、前期に比べ 45.3%の減益。

(単位：億円)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期	前期比	増減率
業務粗利益	3,144	3,772	3,871	3,796	▲74	▲1.9%
資金利益	3,442	3,448	3,454	3,351	▲102	▲3.0%
役務取引等利益	191	173	170	168	▲1	▲1.0%
債券等関係損益	▲502	119	228	249	20	9.1%
うち、債券等償却 (▲)	▲447	▲27	▲11	▲37	▲26	▲232.3%
経費 (▲)	▲2,838	▲2,772	▲2,798	▲2,783	14	0.5%
コア業務純益	808	880	844	764	▲80	▲9.6%
与信関係費用 (▲)	▲450	▲390	▲337	▲387	▲50	▲14.9%
株式等関係損益	▲387	44	▲46	▲87	▲41	▲88.6%
うち、株式等償却 (▲)	▲354	▲18	▲60	▲27	33	55.5%
当期純利益	▲620	462	445	243	▲201	▲45.3%

(参考)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
預金等 (平残)	22.8 兆円	23.3 兆円	23.8 兆円	24.4 兆円
貸出金 (平残)	12.3 兆円	12.6 兆円	12.6 兆円	12.7 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ増加。不良債権比率も上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
不良債権額	7,536 億円	7,502 億円	8,168 億円	8,824 億円
不良債権比率	5.82%	5.80%	6.28%	6.66%

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ、0.12 ポイント上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	24 年 3 月期
自己資本比率	13.52%	14.31%	14.77%	14.89%

- (注 1) 計数は今後業績修正等により変更の可能性がある。  
(注 2) 計数は単体ベース。  
(注 3) 集計対象は管内 39 信用金庫。  
(注 4) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。  
(注 5) 増減欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。  
(注 6) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、増減欄の計数が計算と一致していない場合がある。

【お問合せ先】  
財務省 東海財務局 金融監督第二課  
TEL：(052) 951-1774

## 管内信用組合の平成 24 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- コア業務純益は、資金利益の増益等により、前期に比べ 3.1%の増益。
- 当期純利益は、コア業務純益が増益となったものの、与信関係費用の増加等により、前期に比べ 46.1%の減益。

(単位：億円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	前期比	増減率
業務粗利益	160	194	204	200	▲3	▲1.7%
資金利益	190	193	194	196	1	0.9%
役務取引等利益	▲1	▲2	▲2	▲2	0	6.5%
債券等関係損益	▲29	2	11	5	▲5	▲49.1%
うち、債券等償却(▲)	▲30	▲2	▲0	▲7	▲6	▲1,028.6%
経費(▲)	▲150	▲148	▲148	▲149	▲0	▲0.4%
コア業務純益	40	44	44	45	1	3.1%
与信関係費用(▲)	▲17	▲30	▲19	▲27	▲8	▲40.3%
株式等関係損益	▲19	1	▲0	▲0	▲0	▲1,580.2%
うち、株式等償却(▲)	▲18	▲0	▲1	▲1	▲0	▲87.0%
当期純利益	▲33	11	29	15	▲13	▲46.1%

(参考)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
預金等(平残)	11,603億円	11,800億円	12,120億円	12,308億円
貸出金(平残)	6,059億円	6,117億円	6,191億円	6,270億円

預金等：預金＋譲渡性預金

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ増加。不良債権比率は前期に比べ上昇。

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
不良債権額	687億円	694億円	684億円	730億円
不良債権比率	11.06%	11.02%	10.78%	11.39%

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ、0.31ポイント低下。

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
自己資本比率	12.21%	12.33%	12.55%	12.24%

- (注1) 計数は今後業績修正等により変更の可能性がある。  
(注2) 計数は単体ベース。  
(注3) 集計対象は管内16信用組合。  
(注4) 経費、与信関係費用、債券等償却及び株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。  
(注5) 増減欄は、正の値が利益の押し上げを、負の値が利益の押し下げを表す。  
(注6) 計数は単位未満を切り捨てて表示しているため、増減欄の計数が計算と一致していない場合がある。

【お問合せ先】  
財務省 東海財務局 金融監督第二課 信用組合監督室  
TEL：(052) 951-1775

# 管内信用金庫・信用組合の 平成24年3月期決算の概要



平成24年6月29日

東 海 財 務 局



# はじめに

東海財務局管内に本店を置く信用金庫(以下の39金庫)及び信用組合(以下の16組合)の平成24年3月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

○信用金庫(金融機関コード順)

【静岡県内(12)】

静岡、静岡、浜松、沼津、三島、富士宮、島田、磐田、焼津、掛川、富士、遠州

【岐阜県内(7)】

岐阜、大垣、高山、東濃、関、八幡、西濃

【愛知県内(15)】

愛知、豊橋、岡崎、いちい、瀬戸、半田、知多、豊川、豊田、碧海、西尾、蒲郡、尾西、中日、東春

【三重県内(5)】

津、北伊勢上野、三重、桑名、紀北

○信用組合(金融機関コード順)

【静岡県内(1)】

静岡県医師

【岐阜県内(5)】

岐阜商工、イオ、岐阜県医師、飛騨、益田

【愛知県内(9)】

丸八、愛知商銀、愛知県警察、名古屋青果物、愛知県医療、愛知県医師、豊橋商工、愛知県中央、三河

【三重県内(1)】

三重県職員

※ 各計数は、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。

※ 各計数は、各金融機関からの報告計数(単体ベース)を集計したものである。

(定義) ・比率は加重平均。

・端数整理:東海管内の計数集計においては、単位未満切捨てで処理。

・端数整理後の計数により計算している項目もある。



# (参考) 収益指標

---

- 業務粗利益

業務粗利益 = 「資金利益」+「役務取引等利益」+「その他業務利益等」

- 実質業務純益

実質業務純益 = 「業務粗利益」-「経費」

- コア業務純益

コア業務純益 = 「実質業務純益」-「債券等関係損益」

○債券等関係損益 = 債券等関係収益(売却益+償還益) - 債券等関係損失(売却損+償還損+償却)

- 業務純益

業務純益 = 「業務収益」-「業務費用」  
= 「業務粗利益」-「経費」-「一般貸倒引当金繰入額」

○業務収益 = 「資金運用収益」+「役務取引等収益」+「その他業務収益」

○業務費用 = 「資金調達費用(金銭の信託運用見合費用控除後)」+「役務取引等費用」  
+「その他業務費用」+「一般貸倒引当金繰入額」+「経費」

# 損益の状況(信用金庫)

(単位:億円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	前期比
業務粗利益	3,144	3,772	3,871	3,796	▲ 74
資金利益	3,442	3,448	3,454	3,351	▲ 102
役務取引等利益	191	173	170	168	▲ 1
債券等関係損益	▲ 502	119	228	249	20
うち債券等償却(▲)	▲ 447	▲ 27	▲ 11	▲ 37	▲ 26
経費(▲)	▲ 2,838	▲ 2,772	▲ 2,798	▲ 2,783	14
コア業務純益	808	880	844	764	▲ 80
与信関係費用(▲)	▲ 450	▲ 390	▲ 337	▲ 387	▲ 50
株式等関係損益	▲ 387	44	▲ 46	▲ 87	▲ 41
うち株式等償却(▲)	▲ 354	▲ 18	▲ 60	▲ 27	33
当期純利益	▲ 620	462	445	243	▲ 201

(注)正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

# 損益の状況(信用組合)

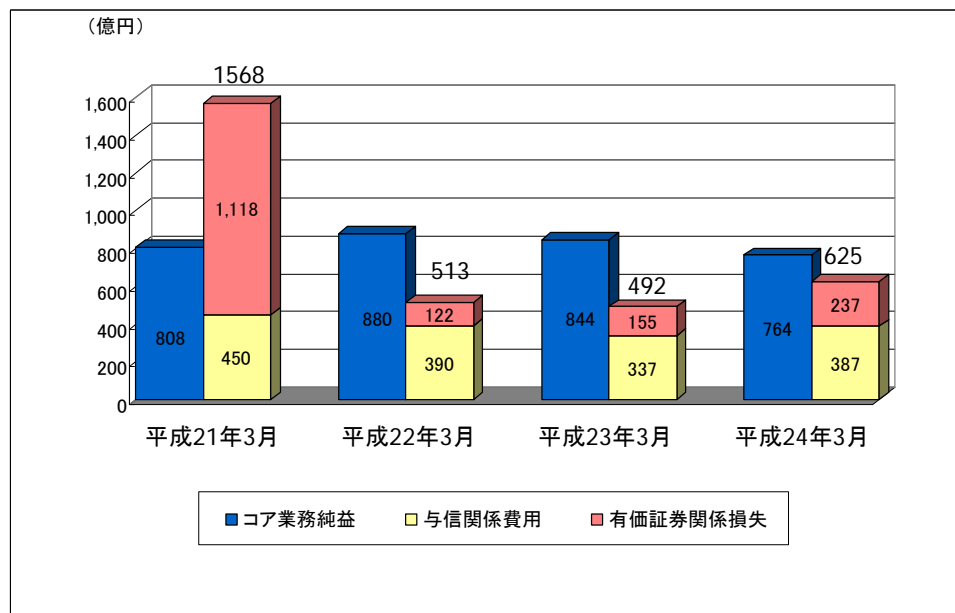
(単位:億円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	前期比
業務粗利益	160	194	204	200	▲ 3
資金利益	190	193	194	196	1
役務取引等利益	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 2	0
債券等関係損益	▲ 29	2	11	5	▲ 5
うち債券等償却(▲)	▲ 30	▲ 2	▲ 0	▲ 7	▲ 6
経費(▲)	▲ 150	▲ 148	▲ 148	▲ 149	▲ 0
コア業務純益	40	44	44	45	1
与信関係費用(▲)	▲ 17	▲ 30	▲ 19	▲ 27	▲ 8
株式等関係損益	▲ 19	1	▲ 0	▲ 0	▲ 0
うち株式等償却(▲)	▲ 18	▲ 0	▲ 1	▲ 1	▲ 0
当期純利益	▲ 33	11	29	15	▲ 13

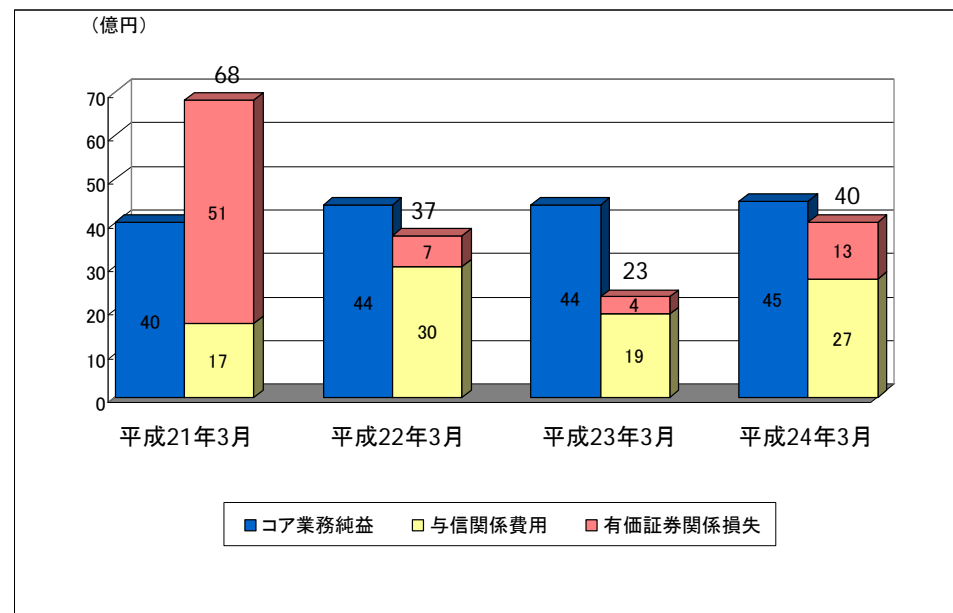
(注) 正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

# コア業務純益に対する 与信関係費用と有価証券関係損失の状況

(信用金庫)



(信用組合)



(日経平均株価:期末)

平成21年3月  
(8,109円)

平成22年3月  
(11,089円)

平成23年3月  
(9,755円)

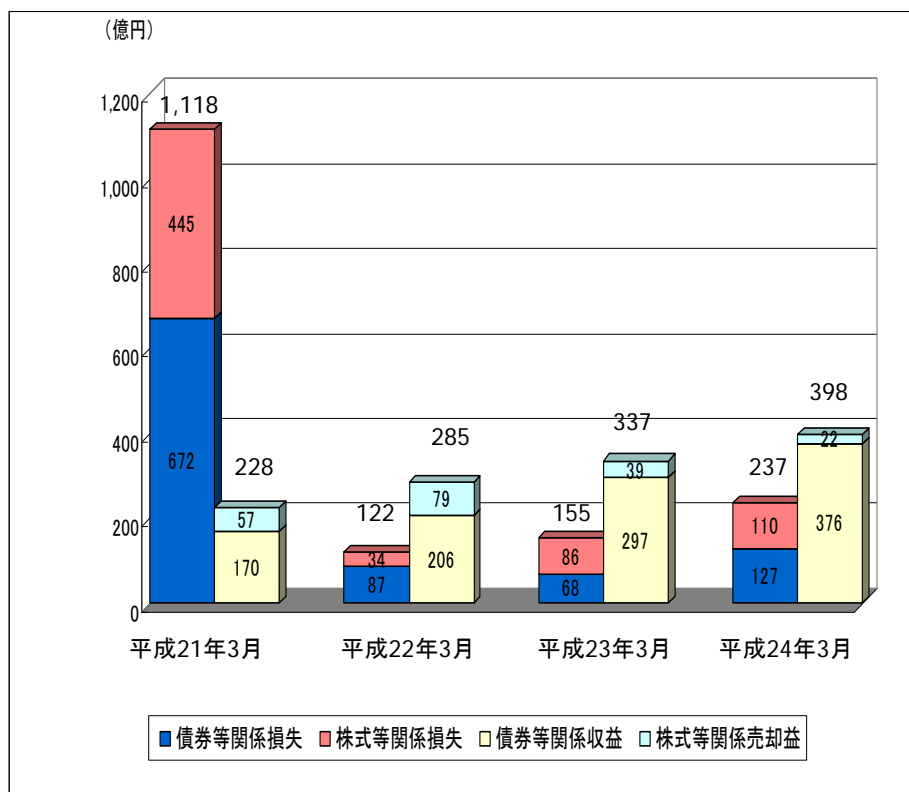
平成24年3月  
(10,083円)

(注) ○有価証券関係損失=債券等関係損失(売却損+償還損+償却)+株式等関係損失(売却損+償却)  
○与信関係費用=一般貸倒引当金繰入額+個別貸倒引当金繰入額+貸出金償却+債権売却損

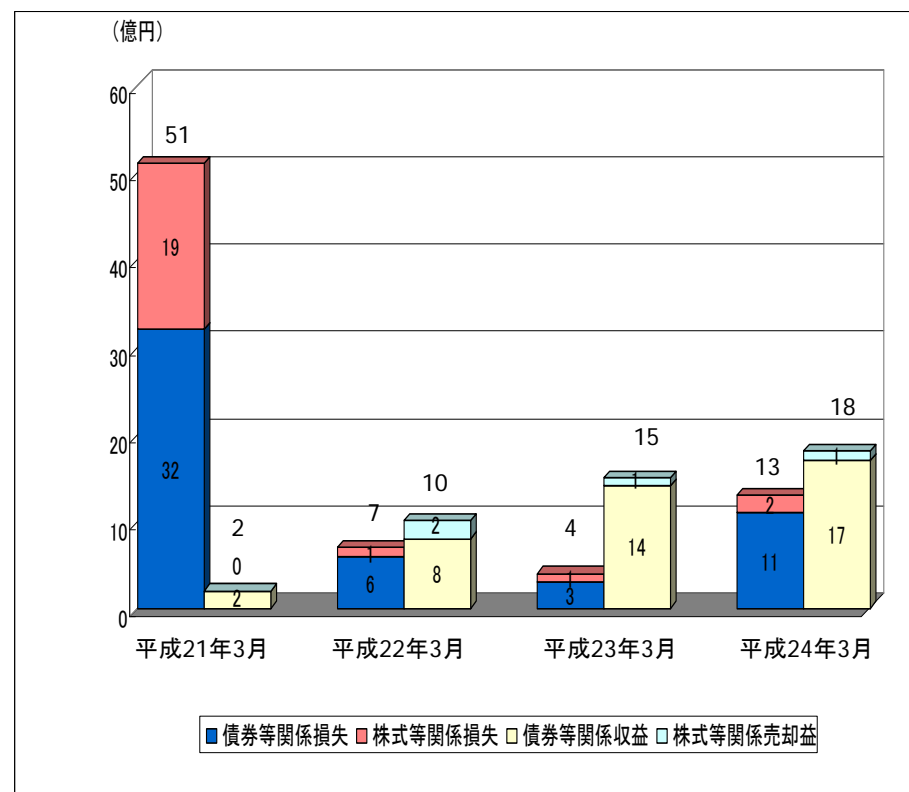


# 有価証券関係損益の状況

(信用金庫)

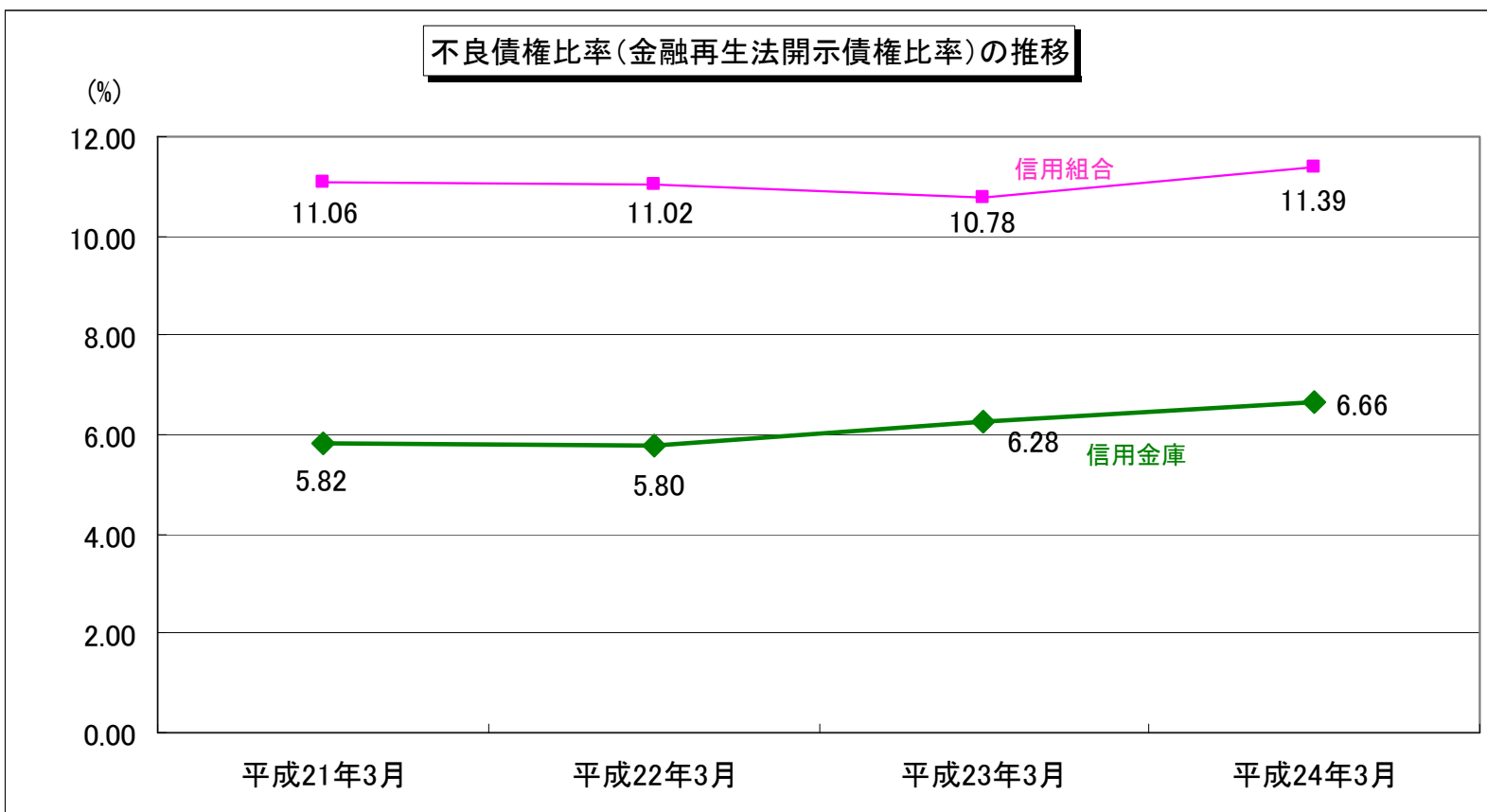


(信用組合)

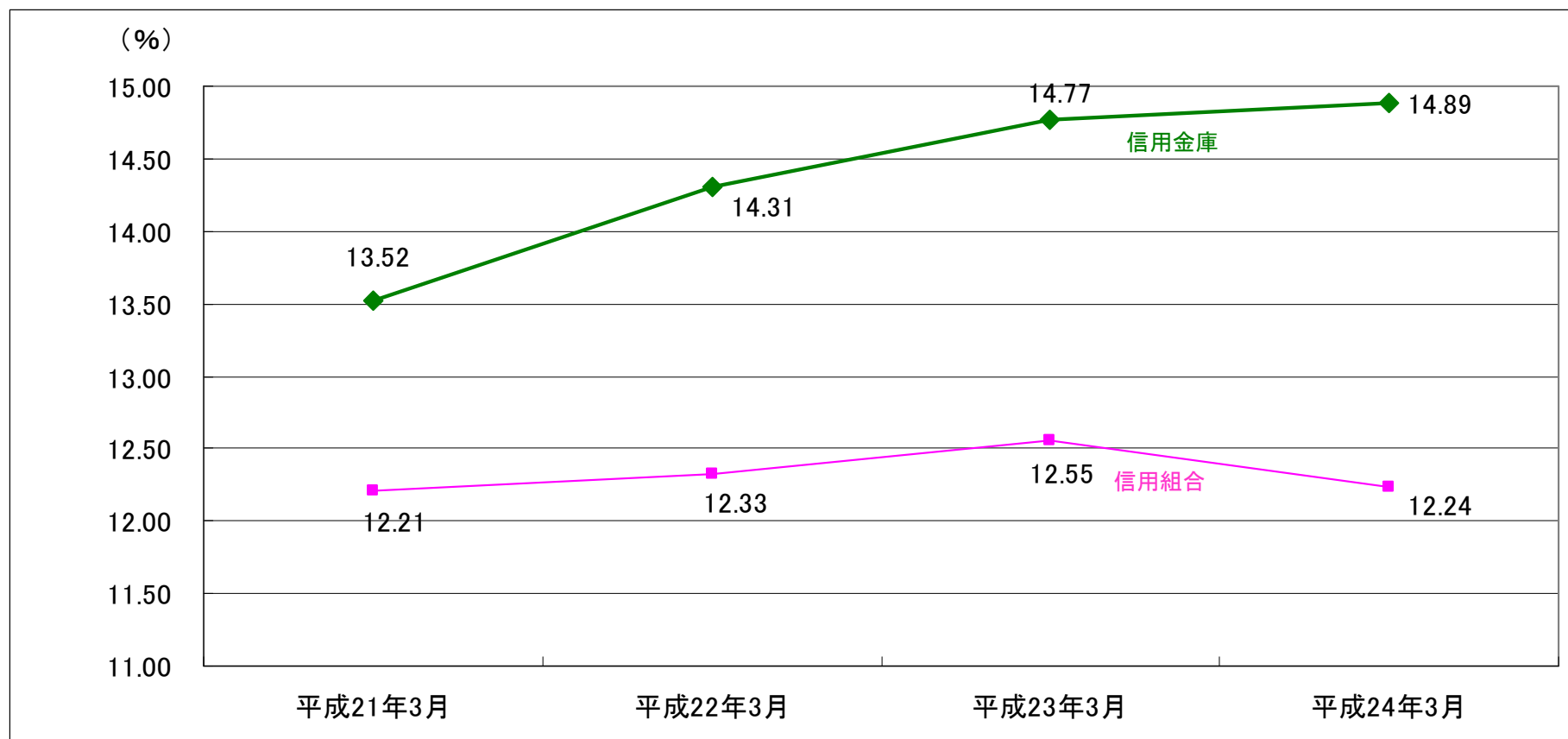


(注) 債券等関係損失 = 売却損 + 償還損 + 償却  
 債券等関係収益 = 売却益 + 償還益  
 株式等関係損失 = 売却損 + 償却  
 株式等関係売却益 = 売却益

# 不良債権比率

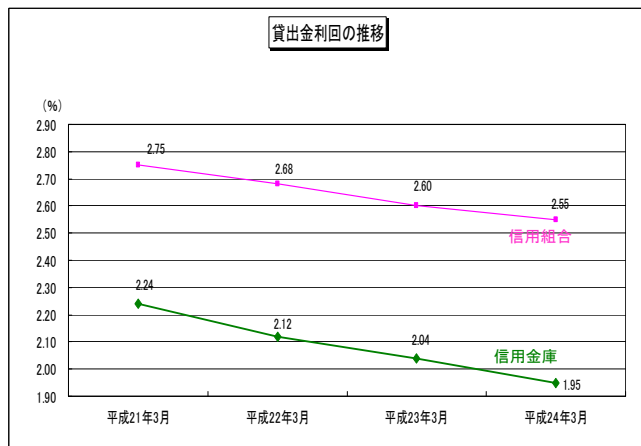


# 自己資本比率の状況

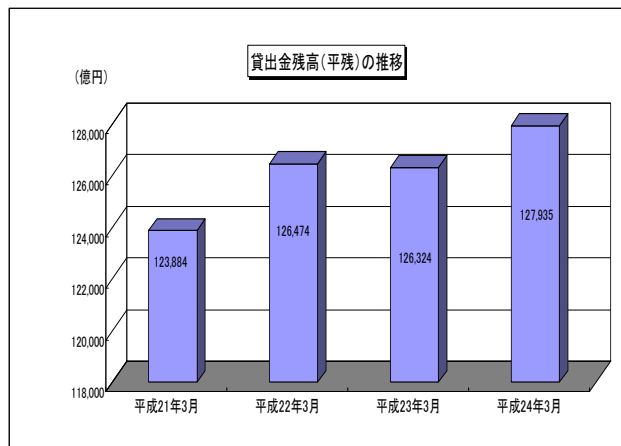


# 預貸金利回の状況

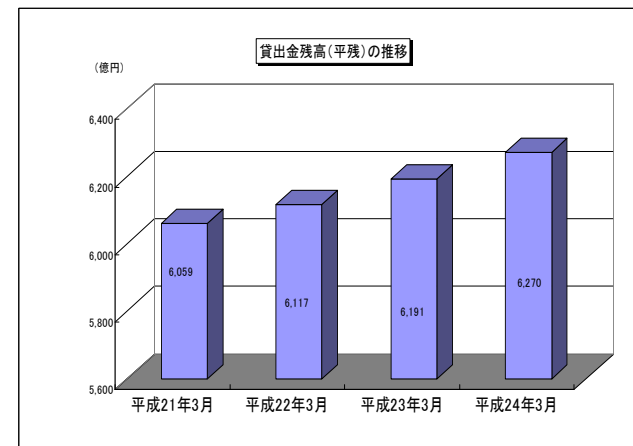
(信用金庫)



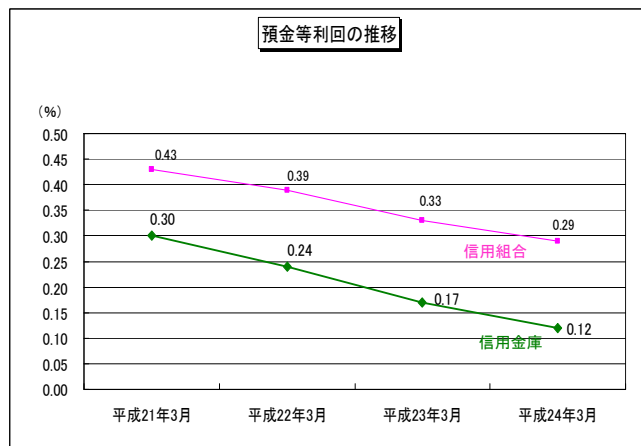
(信用金庫)



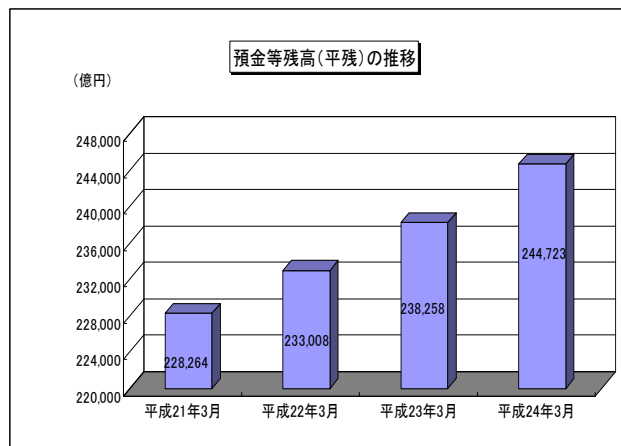
(信用組合)



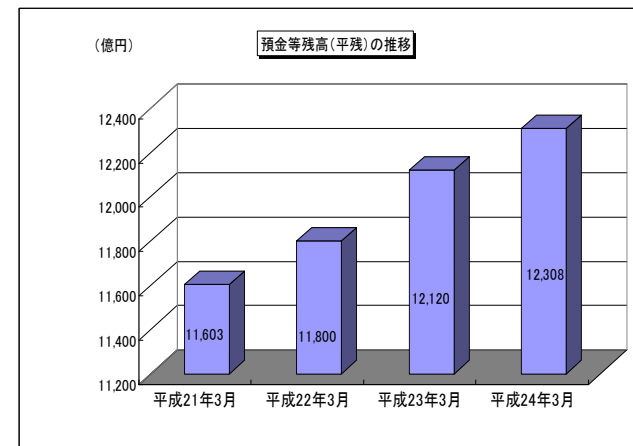
預金等利回の推移



(信用金庫)

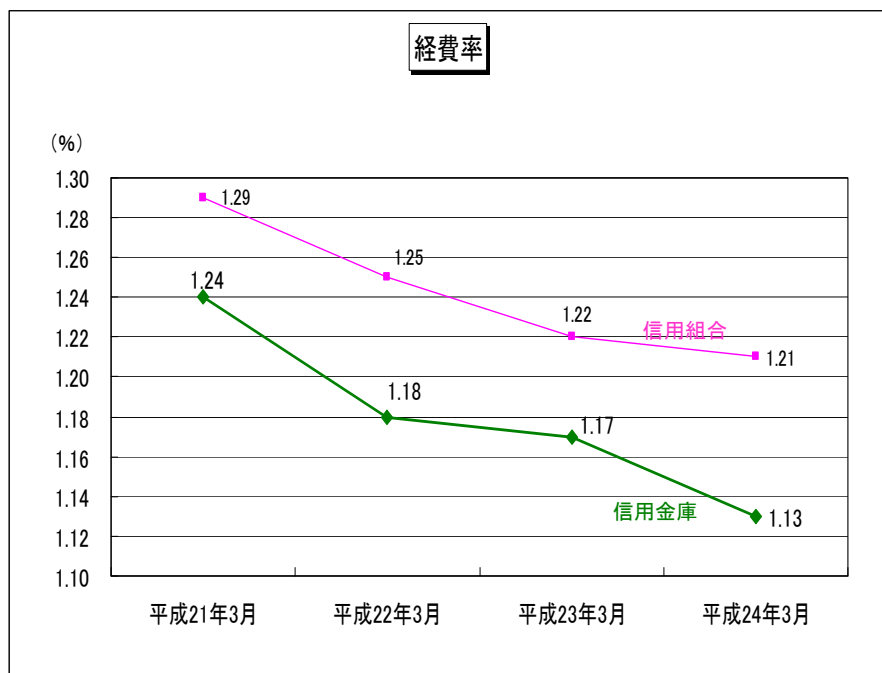


(信用組合)

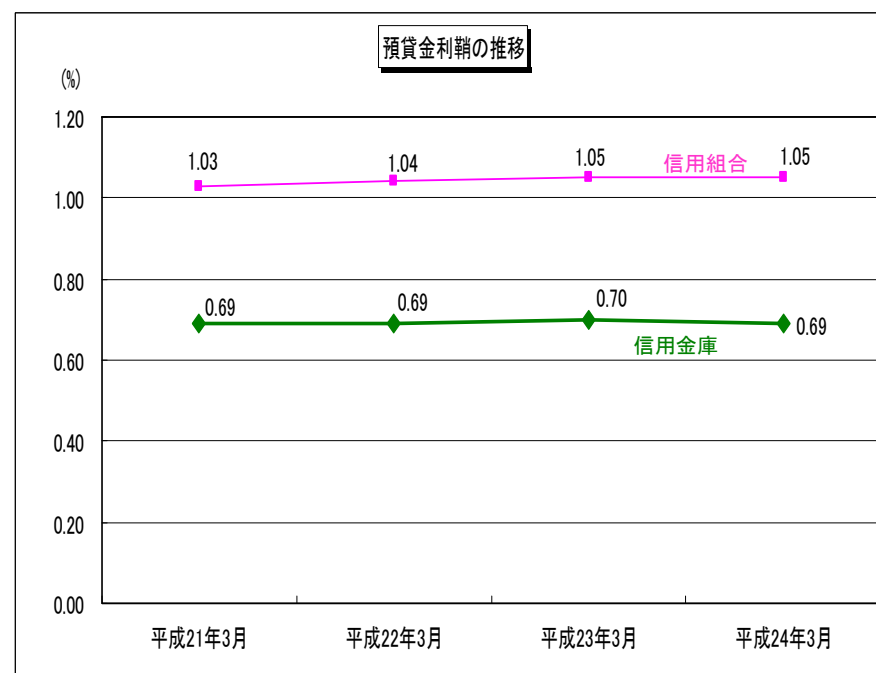


(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

# 経費率及び預貸金利鞘の状況

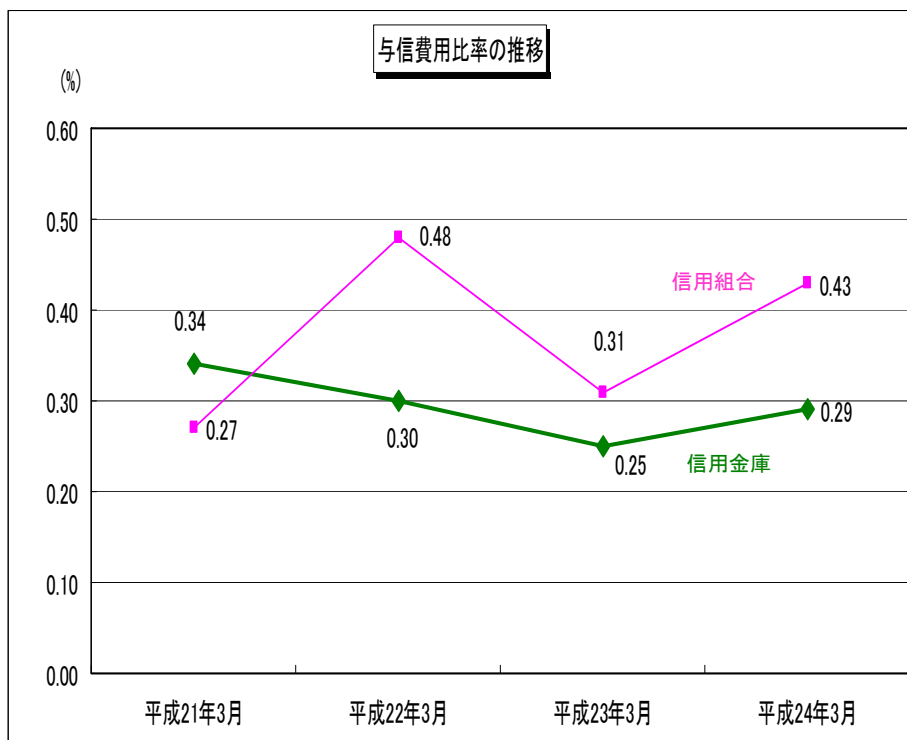


(注) 経費率 (%) = 経費 ÷ 預金等 (平残) × 100

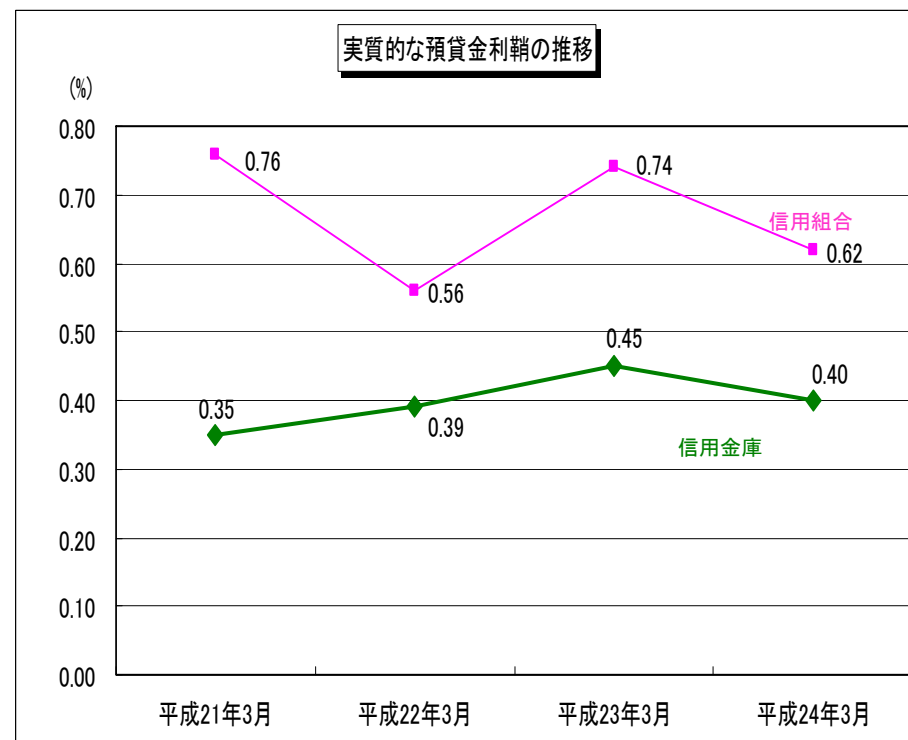


(注) 預貸金利鞘 (%) = 貸出金利回 (%) - 預金債券等原価 (%)  
 預金債券等原価 (%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等 (平残) × 100

# (参考) 実質的な預貸金利鞘の状況



(注) 与信費用比率 (%) = 与信関係費用 ÷ 総与信 × 100



(注) 実質的な預貸金利鞘 (%) = 預貸金利鞘 (%) - 与信費用比率 (%)